

隕石との出合い

私が隕石と出会ったのは、今から7年ほど前の11月20日ですが、その1ヶ月前に、ある女性のマンションでの集まりで一人の僧侶（稲葉さん）と出会いました。稲葉さんは京都の清水寺に大きな隕石を奉納した3人目の人（矢野先生）の弟子になり一緒に隕石を授かりに行っているということでした。11月20日当日はソウルメイトの西野くんとの4人で奈良県大台ヶ原手前の上北山村まで行きました。169号線に車を止め下の川まで下りていき隕石の見分け方を教えてもらいまずは川渕にある1m位の石の川下側の所を探して1つ隕石が見つかるかと先生と稲葉さんは川に入ってほとんどと上流へ行ってしまいました。2時間で20個位ずつ集まり先生に確認してもらいなんとか15個は隕石でした。先生に分けてもらいました。2時間で30個隕石を授かりましたその隕石は、石鉄隕

石と石質隕石、鉄隕石の3種類かどうか？

日本に落下した最大の物は、1850年岩手県の気仙山隕石で135kg、最も重い物は1885年滋賀県の田上山で発見された田上隕石で170kg。日本が世界一の隕石大国と言われています。現存する最大の隕石は1920年南西アフリカで発見されたホバ鉄隕石で60トン（風化されたあと）落下当初は100トン位だったとか！最後に文頭での



坂本さんと隕石の一部

集まりというのは、現在ヒラー名（光・太郎）で頑張っている女性でそこに治療院・病院の先生が2、3名来られていて治療してもらったり、簡単な治療を教わったりの無料での月1回の至福の集まりでした。
坂本千秋さん投稿

気をつけよう 農薬散布

残留農薬のポジティブリスト制度ってなにですか？
食品衛生法の改正により、すべての食品（作物）に残留農薬の基準が定められ、法律によって5月29日から農産物・食品の流通が規制されました。

この規制がポジティブリスト制度で、一定量以上の農薬等が残留する食品の販売等を禁止する制度です。農業者は法律に基づき農作物の消毒に対し十分配慮しなければなりません。しかし消毒は農業者だけではなく、だれでもカキなどの果樹や庭木、家庭菜園など

の消毒を行う機会があるとあります。消毒を行う時に風が吹いていけば、隣接する農作物に飛散することも考えられます。

散布時の飛散対策は風の弱いときに風向きに気をつける、散布の方向等に気をつける、細かすぎるノズルの使用を控え、散布圧力を抑える、などが考えられます。

また、まわりの作物に登録のある農薬の使用や、飛散しにくい剤型（粒剤等）の使用などの対策も有効です。

消毒に対して今まで以上に、地域ぐるみの配慮が必要となる事をお知らせしたいと思います。

J A 大塚支所長投稿



編集後記

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃ですが、皆様には益々ご健勝にてお過ごしのことと存じます。今年も昨年が続いて3回の広報の発行を予定し、今回第4号を発行する運びとなりました。

去年は公民館の施設、設備や定期学習等の紹介がかなり大きなウエイトを占めていました。今年も地域の方々の貴重なご意見やエッセイ、趣味等、多方面の投稿をお願いし、シリーズ物も入れていきたいと思っています。本号へ投稿いただいた方々に感謝いたします。この広報は岩村地区、300世帯（983人）への配布の他に、地区外の関係機関等にも配布して購読してもらっています。

地域の皆様の「岩村ふれあい便り」への忌憚のないご意見、ご助言をお願いすると同時に次号への積極的なご投稿をよろしくお願い申し上げます。

編集部より